

# 笑ってごらん

第 664 号 2019. 11. 20 発行

～今日の格言～

『4C』～本庶佑博士の信念～

好奇心 Curiosity 挑戦 Challenge

確信 Confidence 継続 Continuation



普段なにげなく目にしている（読んでいる）文字や言葉。突然「バラとユウウツを漢字で書いてみて！」って言われても簡単ではない。しかし、「薔薇・憂鬱を読みなさい！」と言われればすんなり読めたりする。つまり、一方通行の曖昧な記憶が如何に多いか気付かされる。

そんなことを考えていたら四字熟語の漢字の正誤問題を見つけた。是非考えてみて欲しい。

◎次の問題1～3において正しいものを選びなさい。

- 問題 1. 「さまざまな種類の花が咲き乱れること」を表す言葉。  
 A. 百花繚乱 B. 百花瞭乱 C. 百花凌乱
- 問題 2. 「こじれた物事を鮮やかに解決すること」の例え。  
 A. 快刀乱魔 B. 怪刀乱麻 C. 快刀乱麻
- 問題 3. 「美しく澄んだ瞳と白く整った歯」のことで美人の形容に使う。  
 A. 明貌皓齒 B. 明眸皓齒 C. 明眸好齒

一方、こちらはハッキリとした話題。

先日大分県で行われた全国選抜高等学校テニス大会九州地区大会において、本校男子は見事優勝！また、女子も4位であった。おめでとう！

来年3月に開催される全国選抜大会へ向け、今後も練習に励んで欲しい。皆で応援しよう。



## 教科書って、何？

2018年ノーベル医学生理学賞を受賞した本庶佑京都大特別教授が、「子供たちに伝えたいことは何ですか」というインタビューに応えた言葉に、思わず姿勢を正した。「教科書に書いてあることも間違っていることがあります。全てを信じてしまわないこと。信じたら成長が止まります。本当はどうなっているんだと考える心が大切です。つまり、自分の目で確かめる、納得するまで諦めないことです。」と応じた。

(中略)

国際プロジェクト『イベント・ホライズン・テレスコープ』は、離れた場所にある望遠鏡のデータを合わせることで、地球規模の電波望遠鏡を構築し、メシエ87銀河の中心にある、巨大ブラックホールのシャドウの撮影に世界で初めて成功した。この研究のチームリーダーである天文学者の本間希樹さんは「簡単に見えないからこそ面白い。すべて、見えないものを見たい」という好奇心から始まるじゃないですか。」と語る。「天の川はどれですか。」の質問には「どれだろう？わかりません。天文学者は見えている星に興味がないのです。」と答えた。

教科書は決まりきったことしか書かれていないが、実はその先に、不思議だな、知りたいなと思う気持ちが生えることを期待して執筆されている。もちろん、時代の変化や研究の進歩に合わせ、常に改訂を繰り返している。だから書いてあることを正しいと覚えるだけでなく、好奇心を育てる素材として学んで欲しい。

『私学経営』533号より抜粋・転載